

## 「人権擁護者としての子ども」を考える

—国連・子どもの権利委員会の討議（2018年9月）を受けて—

子どもオンブズパーソン研究会  
子どもの権利条約総合研究所  
公益社団法人子ども情報研究センター

本研究会は「子ども支援」をテーマに2005年から始まり、毎年2回開催しています。今日、子ども支援のために何が必要か、何ができるのか。そのアプローチを明らかにしていくことを目的としています。

国連・子どもの権利委員会は、第79会期（2018年9月）の一般的討議において、「人権擁護者としての子どもの保護およびエンパワーメント」(Protecting and Empowering Children as Human Rights Defenders)をテーマに取り上げました。「人権擁護者としての子ども」とは、「自己の人権、仲間の権利その他の人々（おとなを含む）の権利を促進するための行動を起こしている子ども」を指します。この討議をもとに、今回のテーマを標記のとおりを設定しました。

そこで、長年にわたり国連・子どもの権利委員会の討議をフォローしてきた平野裕二さんに、「人権擁護者としての子ども」の保護・エンパワーメントをめぐってどのような議論が行われたのか、報告していただきます。それを踏まえて、「人権擁護者としての子ども」という新たな視点から、泉南市子どもの権利条例に基づく子ども会議の取り組みについて、事務局担当職員からの報告および子ども会議・高校生委員の意見表明を受け、討議を深めていきます。

□日時 2019年2月24日(日) 13:00～16:45 (受付 12:45～)

□会場 HRCビル4階 第1研修室A

□テーマ 「人権擁護者としての子ども」を考える

□内容(日程)

1. 基調講演 「人権擁護者としての子どもの保護およびエンパワーメント」  
——国連・子どもの権利委員会による一般的討議からの報告  
平野 裕二 (子どもの人権連代表委員/子どもの権利条約総合研究所運営委員)

2. 指定討論 せんなん子ども会議における「人権擁護者としての子ども」  
せんなん子ども会議 高校生委員  
せんなん子ども会議 事務局担当職員 (泉南市教育委員会事務局)

3. 質疑と討議 コーディネーター 浜田 進士 (子どもの権利条約総合研究所副代表)  
吉永 省三 (同 研究員/千里金蘭大学)

□参加費 500円

□申込み 裏面申込書に記入の上、子ども情報研究センターまで FAX またはメールで。

本研究会に関するお問い合わせ等は ☎ 子ども情報研究センター

TEL 06-4708-7087 FAX 06-4394-8501 E-mail : [info@kojoken.jp](mailto:info@kojoken.jp)